

<集団的かつ持続可能な支援体制の構築に取り組む事例>

○学生、都市住民とのつながりによる活動推進

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	滋賀県長浜市余呉町摺墨 ^{ながはましよごちょうすゐ}			
協定面積 6.3ha	田 (100%) 水稲	畑	草地	採草放牧地
交付金額 106万円	個人配分			53%
	共同取組活動 (47%)	共同機械購入 (電気柵) 水路、農道等の維持管理経費 乾燥機、うすすり機購入積立 景観作物栽培費 会議費 (ボランティア受入) 及び事務費		17% 5% 21% 2% 2%
協定参加者	農業者11人(摺墨営農組合(構成員11人))、生産組織1、水利組合1、非農業者3人			開始：平成12年度

2. 取組に至る経緯

住人の多くが高齢者である山間部の小さな集落のため、これまでは集落の枠組みの中で農作業や集落行事などを何とか行ってきたが、高齢化、過疎化の進展に伴い、集落のみでの維持管理に限界を感じてきた。

第2期対策最終年度の平成21年夏、学生ボランティアの支援活動を契機に、重作業の支援、学生や都市住民との意見交換会などの交流活動が活発化し、住民の意識も少しずつ変わっていき、集落活性化への期待と農作業維持への意欲が見られるようになった。

3. 取組の内容

第2期対策においては、集落全戸を構成員とする営農組合を設立し、共同機械や各農家が保有する農業機械の管理、農作業受託などを行うことにより、個々の農業者に係る農業生産活動の負担軽減を図った。

第3期対策では、営農組合を中心とした集落ぐるみ型のサポート体制（C要件）の構築に取り組んではいるものの、集落のみでの維持管理にもいずれ限界が予想されることから、2期対策から引き続き、集落外からの支援を受けている。

支援内容は、NPO法人による農作業（田植え、稲刈り）体験活動や学生ボランティアによる大きな水路の土砂上げなどの作業で、このような支援活動を通じて、若者や都市住民と交流を図り、地域住民の活力増進、集落維持につなげていきたい。



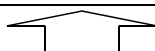
【5/5 NPO法人等田植え体験作業】



【8/22学生ボランティア支援作業】

【集落の将来像】

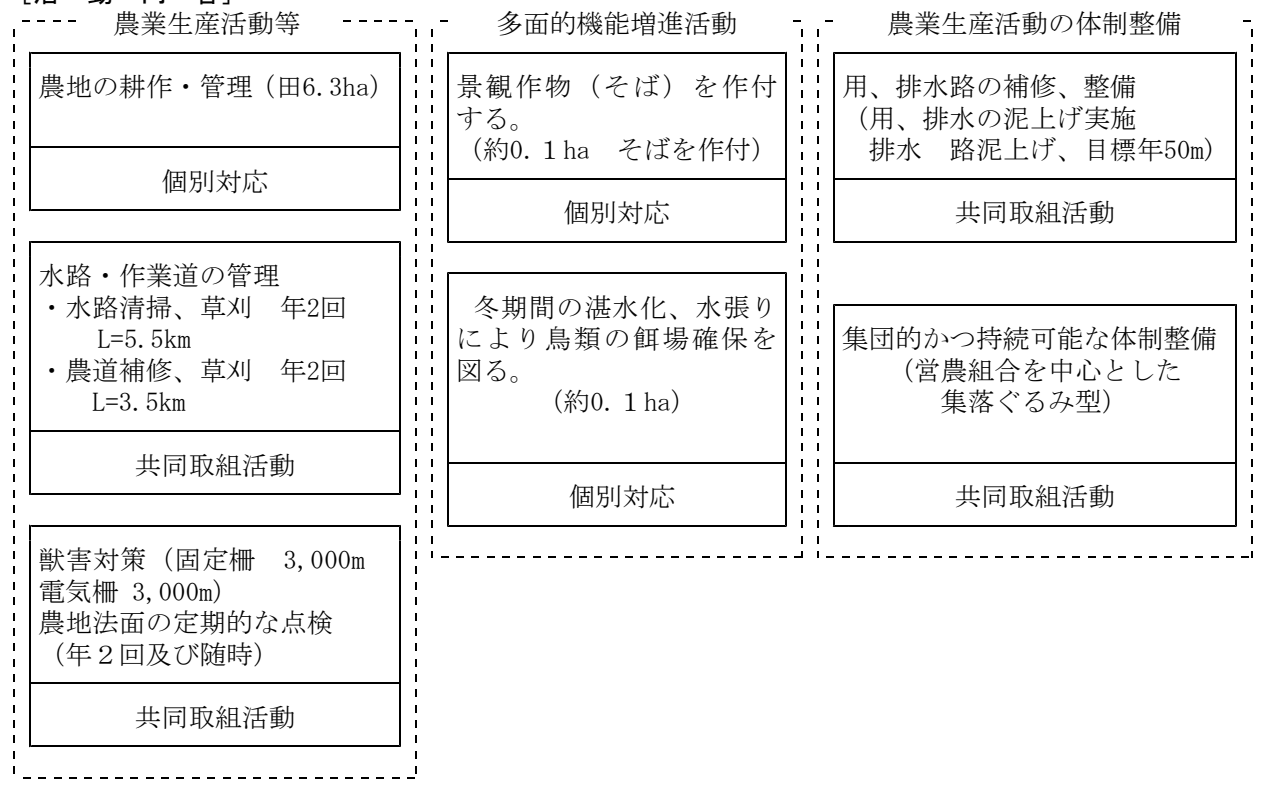
○集落は13戸30人と小さい集落のため、集落ぐるみでの農業生産活動の体制を整えつつ、人口増加が見込めない実情から、集落外からの作業支援等の持続的な体制も整えていく。



【将来像を実現するための活動目標】

○営農組織による農作業の共同化の検討を行い、耕作放棄地になりそうな農地、特に高齢農業者へのバックアップ体制を整える。また新規就農者の確保として、Uターン農業者の育成や都市住民、学生ボランティアなどによる継続的な作業支援を得られるような活動計画を立てる。

【活動内容】



集落外との連携

○農業生産活動や水路、農道の維持補修 (土砂上げ) などの重作業について、集落外のNPO法人や学生ボランティアとの連携を図る。

4. 今後の課題等

C要件を選択して集落協定を締結したことにより、特に高齢農業者から安心して農作業に取り組めるなどの意見が出ている。

平成21年から始まった学生ボランティアによる支援活動については、学生の休暇期間に限定した支援となっており、集落が支援要請したい活動と合わないことや、毎年継続の要請を行う必要があり、継続的な支援が得られるが課題である。

【第2期対策の主な成果】

- 集落営農組織を組織化 H21.2に組織設立。
- 共同機械の導入において、乾燥機1台を新規購入